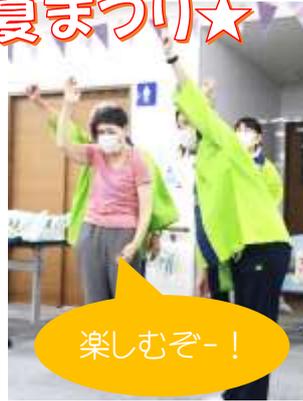


★生活介護 4 班プチ夏まつり★



次こそ外出できますように！  
乾杯♪



# 里だより

No.369

令和4年10月1日

—発行—

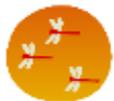
菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



編集後記……………7	行事予定・ ありがとうございました	サービス向上委員会より・ 行事報告……………5	職員より・調理場より……………4	主任より……………3	業務部より……………2	施設長より……………1	十月号もくじ
------------	----------------------	----------------------------	------------------	------------	-------------	-------------	--------

(ページ)



## 施設長より

### アフターコロナ



今年度も、もう半分を過ぎようとしています。振り返ると、やはり新型コロナウイルスに振り回されました。濃厚接触者、陽性者が出ると、施設内で感染が広がらないか冷や冷やすることも増えます。全国的に驚くような数の感染者が出て、行動制限もしないとなると、誰もが、いつどこで罹患してもおかしくない状況です。事業をなるべく継続しながら、感染が疑われる時にはスポット的にケースバイケースでの対応が必要になってくることも念頭に、腹をくくって対応していかなければならないと言い聞かせています。この寄稿時点で、施設内はクラスターの対応中です。

利用者さんを始め、ご家族、関係機関にはご心配とご迷惑をおかけしています。今回は、二月の発生とは別のグループの利用者さんを中心に広がりました。前回の経験を活かし、初動対応にも気をつけましたが、症状が出た時には既に数名に感染していたと思われるケースもありました。オミクロン株の感染力の強さもさることながら、入所施設の弱みの一つです。如何に感染を広げない対応をしていくか、最小限の感染で抑えるかが今後の課題となります。

県内の感染者は減少傾向が続いているものの、依然、多い数字です。熊本県の人口が約百七十二万人に対して、九月十四日時点の罹患者が三十一万六千二百二十八人。十八%の方が罹っていることとなります。新しいワクチンが期待される中、アフターコロナ、ウィズコロナの視点を持ち、それを見直しながら進める考えが必

要なのでしよう。

以前も書きましたが、コロナ前と大きく変わったのは職員研修です。これまでは開催される会場へ出向いていましたが、現在では、オンラインやオンデマンド配信の研修も増え、パソコンを前に受講しています。管理する側や先輩の立場としては、会場まで無事に着いたか心配することは減りました。特に県外の研修であれば尚更です。ただ、対人援助を生業とする者からしたら、会場での雰囲気や、そこでしか知りえない情報や会えない人との交流を肌で感じてもらいたい気持ちは拭えません。この他、人材確保もコロナ前と大きく変わったものの一つです。今でもコロナの状況に合わせてインターンシップは受け入れていますが、コロナ禍の施設見学はオンラインが主流となりつつあります。感染リスクを下げることで、運転免許や自家用車を持っていない学生さんにとっては大変便利だと思います。しかし、入職前に思い描いていたものと、入職後のギャップが大きくなると考えられるので、採用が決定してからのフォローもこれまで以上に必要となります。

アフターコロナでは、人材確保の面のみならず、利用者さんのニーズや施設運営においても、これまでの常識が変わることもあるかもしれません。現状をきちんと把握できるマーケティングできる視点を持ち合わせて進めたいと思います。

施設長 松永 一博

## 業務部より

### 花のある生活

台風一過。吹き荒れた暴風が嘘のようです。今回の台風十四号は気象庁から「過去に経験したことがない暴風・高潮・高波・記録的な大雨のおそれがある」と発表され、各地に甚大な被害をもたらしました。つくしの里でも、停電を想定した発電機や各居室へのLEDランタンの配布、メニューの変更等、準備していましたが、幸いにも何事もなく朝を迎えることができました。台風対策に加え、コロナ感染症への対応も踏まえた準備が必要となり、過去に経験したことがない状況でした。

現在、コロナ陽性者が利用者さん・職員、合わせて五名以上のクラスターとなっており、在宅利用者さんの受け入れを自粛し、入所の利用者さんには各棟を分離して過ごしていただいています。仕方ないとは言え、繰り返す「巣籠もり生活」に息がつまみません。

せめてもの癒しになればと思い、プランターの花を切つて玄関に飾りました。外を見ると花壇に白い彼岸花が咲いていましたので、こちらも花瓶に生けました。すると気分が和らぎ、少し息が楽になった気がしました。

施設内には色々な花が咲きます。春は桜、夏は紫陽花、秋は彼岸花やホトトギス、冬は水仙や侘助等々（もつとあるのですが花に詳しくないのでこの辺で）・・・。

何気なく外に出て、こうした花の初咲きを見つけた時は嬉しく

て、花にはゴメンナサイと謝りながら、切つて玄関に飾ります。センスがないので微妙な仕上がりになることも多いですが、やはり花がある空間は良いものです。余談ですが、茶道のお茶席では、生き物は花だけなので一番の御馳走と言われるそうです。実感をもって納得してしまいます。

施設の樹木や植物には、設立当初にご家族や職員によって植えられたものが多数あります。建物の増築等で、やむなく伐採したものもありますが、季節ごとに景色を彩り、梅や裏山から落ちてくる栗は、食の楽しみも与えてくれます。

育てやすい種類の観葉植物さえ枯らす私は、花を植えようとは思いませんが、日々の生活の中で見落としがちで、小さな季節の変わり目を見つけれられる余裕をもっていたいと思います。

事務長 光永 明日美



## 主任より

### 秋を迎えました

個人的に食養生（しよくようじょう…食べ物によって健康的な体をつくること）やお灸に関心があり、東洋医学の話に触れることが多くなりました。季節の変化、身体の変化など自然の摂理や流れを学んでいます。身近なもので理解しやすく実感できて、感動を覚えます。

八月終わり、暑い日々の中にも冷たい空気が混じってきたことを感じました。九月に入ると空が高くなり、日差しは強いながら、空気は一気に爽やかになりました。朝夕も涼しく、エアコンで閉めきっていた窓を開けることが多くなりました。食材もブドウや栗、甘藷などが旬を迎え、心躍ります。同時に、乾燥する季節でもあり、肌には粉がふいて、かさつきが気になり始めます。

利用者の方に対しても、冷えないように衣服を調整すること、水分が不足していないか観察し、排泄状況を見て、身体の状態に注意する等、東洋医学の話に触れたことで、利用者さんの変化も少し理解しやすくなったように思います。

しかしながら、学びを深めていけばいく程、専門用語等の壁にぶち当たり、勉強することが楽しいと思えるのも束の間です。繰り返し学んで、実感して、少しずつ知識を得ていきたいと思えます。

主任支援員 池田 亜紀

### ～お知らせ～

昨年、熊本県の作品展示会で賞をいただいた利用者さんの作品が、熊本県身体障害者福祉団体連合会様を通じて、沖縄で開催される「美ら島おきなわ文化祭 2022」(R4.10.22～11.27)に出品されました。コロナの影響で、残念ながら現地まで見学に行くことはできませんが、出品された作品は電子ブックにまとめて作品集としてホームページに掲載されるそうです。ダウンロードも可能ですので、お時間がありましたら、是非ご覧ください。

「美ら島おきなわ文化祭 2022」ホームページ

<https://okinawa-bunkasai2022.jp>



## 職員より



8月の通帳確認・面談で久々にご家族との面会が出来た利用者さん。面談後には表情を輝かせ「良かったよ!」「今度は正月に家に帰るから!」と少し興奮した様子で他の利用者さんや職員に話を聞かせてくれる姿に「本当に良かったね!」「正月なんて直ぐですよ!」と返答しながら少しウルウルとさせられました。しかし、順調に行われていた面談も、職員や家族のコロナウイルス感染により、ウイルスを持ち込まないとの観点から、延期せざるを得ない利用者さんも多数いらっしゃいました。私が担当させて頂いているKさんもその一人です。Kさんにどの様に話そうか苦慮しながら説明をすると「僕は男の子だから大丈夫!来月になったら電話したい!」との返事に安堵しました。その後の活動にも大きな変化はなく、毎日の箱の折り込みやラベル貼りを頑張っておられます。コロナが、どのように収束するのか現時点では分かりません。新しい変異株も出てきて、もうしばらくは感染予防行動を続けたいといけなんでしょう。利用者さんのストレスを少しでも緩和するために、これからも園内での楽しい行事や、班活動を模索していきたいと思います。

(支援員 後藤)

つくしの里の利用者さんの最長寿は93歳のKさんです。私はKさんの担当をした事はありませんし、同じ班になった事も同じグループになった事ありません。実際、不規則勤務での関わりぐらいしか話す機会もありませんが、米寿のお祝いをした頃から、しっかり話すようになりました。朝は「おはよ!」と元気に言ってくれます。しっかり会話ができる訳ではありませんが、ドライブに行った日は「先生、わ~って、はな」等と単語を並べて、楽しかった事を話してくれます。他の利用者さんの面白かった話やイベントをした話など、ジェスチャーを交えて伝えてくれます。時には体調を崩してしまう事もありますが、毎日、元気なKさんの声が施設中に響いています。Kさんに負けないように、私も毎日元気に仕事に励もうともいます。(余談ですが2年前に犬を飼いました。偶然にもKさんと同じ誕生日で運命を感じています(笑)。)

(支援員 東)

## 調理場より



8月に嗜好調査を実施し、野菜についてお聞きしました。

好きな野菜は「かぼちゃ」が一番人気で、嫌いな野菜、嫌いな野菜のおかずは「無い」の回答が一番多かったです。

調理場スタッフは、つくしの里の残食の少なさにびっくりしています。利用者さんの「いただきます」「ごちそうさま」の声掛けも多く、毎日のモチベーションにもなっています。利用者さんのご期待に応えるべく、調理場スタッフも試行錯誤しながら、火加減、味付け等工夫し、おいしい食事を提供していきます。

季節の変わり目で体調管理も難しいですが、今回の嗜好調査の結果を参考に、旬の食材を取り入れてバランスのよい食事を食べていただき、元気に過ごしてもらいたいと思っています。

(管理栄養士 奈須)

## サービス向上委員会より

### ■ イベント【主任支援員 中尾・支援員 尾崎か・東】

利用者さんがつくしの里で過ごす中で、充実した時間を送れる様に、各種イベントを企画立案しています。夏には、つくしの里全体でボール投げなどのレクリエーションを行った「つくしんピック」。この他、フロスタドーナツさんには毎月来て頂き、ドーナツの販売も行っています。今後もかき氷会、花火大会、展示会への作品出展など、たくさんのイベントを予定しています。

委員会の職員は、準備や書類作成で慌ただしいですが、利用者さんが楽しんでいる姿をダイレクトに見る事が出来、やりがいを持って委員会の活動に取り組んでいます。コロナウイルス対策で制約もあり、やりたいことが出来ずに、もどかしい部分もありますが、安心安全で楽しんで頂けるように頑張っていきたいと思えます。



## 行事報告

※ 8/21 (日) ~9/20 (火) の実施分について報告いたします

### ★ 生活介護 4 班食事会【8月25日 (木) つくしの里】

夏も終わりが近づき、“プチ”夏まつりと題してゲームを楽しみました。①的当て ②釣り ③くじ引き ④綿菓子 の4種類のブースを準備。特に人気だったのが「釣り」ならぬ「ゼリー釣り」。ゼリーをひもで固定し、釣り竿は棒に引っ掛ける形で釣りましたが、悪戦苦闘する利用者さんが多数いて、職員も手伝いました。昼食はお弁当のヒライに注文し、豪華に盛り付けられた松花堂弁当を美味しく食べました。

本来であれば、菊池温泉「清流荘」で温泉と食事を楽しむべく、数日前から着替えやマット類を準備し、当日のシミュレーションも含めて、久しぶりの外出の日を待っていましたが、2日前に体調を崩された方が確認され、先方と当施設の安全を最優先すべく、やむを得ず中止を決定しました。「外出ができない」ばかりではなく、「出来る事は何か？」に切り替えて行事を実施していきたいと思えます。(支援員 北島)



# 9月の出来事

## 防犯訓練 9月1日(木)

初めて防犯訓練を行いました。不審者が侵入し、職員に怪我を負わせて館内を逃走する想定で、不審者対応、職員間の連絡、負傷者の手当等、それぞれの役割に合わせて動きました。参加した職員からは、一人で行動しない方が良い・利用者活動棟の防犯面の脆さが見えた・さすまたの使い方が難しかった等の感想が寄せられ、今後の課題が見えました。



## ワックスがけ 9月6日(火)～8日(木)

業者による年1回のワックスがけを行いました。初日は新棟全体と食堂まで。2日目はグループホーム。3日目は旧棟全体というスケジュールでした。床はピカピカになりましたが、移動していたロッカーは元の場所から配置が変わり戸惑う職員もいたとか…。綺麗に保つように日々の掃除に励みます。



## 台風片付け 9月20日(火)

過去に経験したことがないような台風と称された台風14号の襲来。幸い、被害はありませんでしたが、雨と共に枝葉は容赦なく降り注ぎました。朝から施設周辺の大掃除。午前中で片付けました。



## 9月の出来事ではないですが…

8月30日(火)いきいきグループで「ぷち」夏まつりが開催されました。輪投げ・アヒルすくい、綿菓子等々、利用者さんに楽しんでいただけるよう職員も張り切りました。



## 行事予定

☆ 生活介護③班外出 (佐俣の湯 さまたんロッジ)

期 日：10月17日 (月曜日)

内 容：温泉にゆっくり浸かってバーベキューをします！



☆ 秋の里まつり (つくしの里)

期 日：10月25日 (火曜日)

内 容：昨年度と同様、利用者さんと職員でささやかな園内のまつりを計画しています。カラオケや抽選会で盛り上がりたと思います (当初の予定から期日を変更しました)。



※延期した敬老のお祝い・かき氷会・花火大会も10月に実施する予定です

ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和四年八月二十一日～

令和四年九月二十日です



### 【寄付・寄贈】

・岩根 亨 様

・澤田 結香 様

・田上 涼子 様

・藤野 幸子 様

・岩根 治美 様

・田代 千恵子 様

・藤田 孝志 様

・柳瀬 けさみ 様

### 【ボランティア】

・村里 和洋 様



誠にありがとうございました。  
利用者さんの為に使用させて頂きます。

## 編集後記

種々の行事が中止になると、里だよりの誌面も寂しくなります。

しかし、こんな時こそ日々の出来事を紹介するチャンスと捉え、「〇月の一コマ」とか「△月のあれこれ」などと名付けて記事を掲載してきました。今月は「9月の出来事」です。毎日みんな頑張っています！

## 施設PR委員会 今月の1枚！



夏祭りレクリエーションの的当てゲーム  
「ジュースを狙うぞ！」

※お詫びとおことわり  
里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載・確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら、何卒ご容赦していただきたく存じます。